

2009年10月1日

**社会貢献活動「エイブルアート・オンステージ」が
「メセナ アワード2009」ベスト・コラボレーション賞を受賞！**

明治安田生命保険相互会社（執行役社長 松尾 憲治）は、社会貢献事業として、「エイブルアート・オンステージ」を実施^{*1}していますが、このたび、社団法人企業メセナ協議会が主催する「メセナ アワード2009」^{*2}において「ベスト・コラボレーション賞」を受賞しました。

今回の受賞は、本社会貢献事業が、舞台芸術の分野において、障害のある人やプロのアーティストなど、さまざまな人たちの横断的な交流を生み出してきたことが評価されたものです。

「エイブルアート・オンステージ」について

障がいのある人たちに演劇、ダンス、音楽などの舞台芸術の分野で自らを表現する機会を提供するとともにその普及を図っています。この取組みは3つのプログラム^{*3}から構成されており、プロの舞台人やアーティストとのコラボレーションを通して、これまでに見たことのない表現や作品づくりに挑戦し、新しい舞台表現の可能性を発見することを目指しています。

- * 1 「エイブルアート・オンステージ」はNPOエイブル・アート・ジャパンと協力して行なっています。
- * 2 企業メセナ協議会では、芸術文化振興に高く貢献した企業・企業財団を表彰する「メセナアワード」を実施しています。
- * 3 3つのプログラムの詳細については、**別紙**をご参照ください。

「エイブルアート・オンステージ」は次の3つのプログラムから構成されています

活動支援プログラム

- ・障がいのある人が参加するさまざまな舞台芸術の取組みに対して、上限150万円の支援金を提供するプログラムです。
- ・支援対象者は各地でグループを立ち上げ、参加者募集、ワークショップやレッスンを実施、地元での公演を行ないます。
- ・活動終了後はすべての支援先が集まる報告会で、活動のプロセスや作品の映像を発表します。

コラボ・シアター・フェスティバル

- ・エイブルアート・オンステージに参加したグループの成果を多くの人に伝え、次に続くグループへの課題を提示する場です。
- ・エイブルアート・オンステージ実行委員のアドバイス等をふまえて、地元公演で発表した作品のうちいくつかを、さらに発展させて上演したり、シンポジウムや展示などさまざまな方法で、各参加団体の成果を伝えます。
- ・ゲストや観客、新たに加わるスタッフとの意見交換などを通して、新しい舞台の在り方、創り方をともに考える場にもなります。

飛び石プロジェクト

- ・英国から2人の演出家を招き、さまざまな人たちとワークショップを通じて交流し、作品づくりを行なうコラボレーションプロジェクトです。
- ・2人の演出家が交互に8回の来日を重ね、飛び石を置くように東京とそれ以外の地域でワークショップを繰り返します。
- ・さまざまな障がいのある人や俳優などアーティストが出会い、障がいの有無や言葉や文化の違いも越えて、演劇の新たな可能性を探り作品化に挑戦します。

以上